

冷凍餃子問題を機に、食育に地場産食材を利用せよ

中里 知恵子 議員



Q 自立しても、町民は少なからず、将来は合併することになると考えている。

12月定例会で、町長は「合併後の周辺市町村に関する情報を、町民に知らせる。」と回答しているが、いつ、どんな方法で行うのか。

A 町長 今後、機会あるごとにお話ししたい。

あるごとにお話ししたい。

Q 中国の食問題を機に、農業の振興と食の安全に対してどう取り組むのか。

町長 給食に、地場産野菜を取り入れている。きゅうり、なすなど92%、にんじん、たまねぎ、じゃがいもなど57.4%を利用している。今後、発展的取り組みが図られるよう努力する。

A 町長 給食に、地場産野菜を取り入れている。きゅうり、なすなど92%、にんじん、たまねぎ、じゃがいもなど57.4%を利用している。今後、発展的取り組みが図られるよう努力する。

町長 給食に、地場産野菜を取り入れている。きゅうり、なすなど92%、にんじん、たまねぎ、じゃがいもなど57.4%を利用している。今後、発展的取り組みが図られるよう努力する。

町長 給食に、地場産野菜を取り入れている。きゅうり、なすなど92%、にんじん、たまねぎ、じゃがいもなど57.4%を利用している。今後、発展的取り組みが図られるよう努力する。

町長 給食に、地場産野菜を取り入れている。きゅうり、なすなど92%、にんじん、たまねぎ、じゃがいもなど57.4%を利用している。今後、発展的取り組みが図られるよう努力する。

町長 給食に、地場産野菜を取り入れている。きゅうり、なすなど92%、にんじん、たまねぎ、じゃがいもなど57.4%を利用している。今後、発展的取り組みが図られるよう努力する。

歩道や自転車道など、生活道路の整備に力を入れてほしい。

Q 狭い生活道路では、道路の拡張や排水溝に蓋をするなどの措置をとっている。

町長 歩行者が、安全に安心して利用できる道路の実現を、幹線道路整備と並行して図りたい。

町長 歩行者が、安全に安心して利用できる道路の実現を、幹線道路整備と並行して図りたい。

町長 歩行者が、安全に安心して利用できる道路の実現を、幹線道路整備と並行して図りたい。

町長 歩行者が、安全に安心して利用できる道路の実現を、幹線道路整備と並行して図りたい。

町長 歩行者が、安全に安心して利用できる道路の実現を、幹線道路整備と並行して図りたい。

町長 歩行者が、安全に安心して利用できる道路の実現を、幹線道路整備と並行して図りたい。

群馬県地域防災会議で、地震対策として活断層について再審議を要求できない

平成20年度施政方針を聞き、子どもたちを取り巻く環境を問う

斉藤 嘉和 議員



Q 子どもたちが自分に誇りを持ち、希望に満ちた豊かな地域社会を目指すという。具体的に聞きたい。

町長 町の子もたちが夢と希望を持つような地域社会を創る

町長 町の子もたちが夢と希望を持つような地域社会を創る

町長 町の子もたちが夢と希望を持つような地域社会を創る

町長 町の子もたちが夢と希望を持つような地域社会を創る

町長 町の子もたちが夢と希望を持つような地域社会を創る

町長 町の子もたちが夢と希望を持つような地域社会を創る

子どもたちを育てていくこと。第3保育所の建設事業を進めるとともに、全保育所に防犯カメラ、AEDを設置して、子どもたちの安全を確保していく。

また、給食室にスチームオーブンを設置して、バリエーション豊かな給食を提供していきたい。

二つ目として、学校教育できめ細やかな指導の充実を図るため、「少人数指導たまむらプラン」を引き続

き実施していく。また、中学生だけでなく小学生も対象に英語指導助手を配置し、英語力の向上と国際力を身につける教育の充実を図っていく。

三つ目として、新築中の玉中はもとより、南中の図書室にもエアコンを設置し、小中学校・幼稚園図書

の充実を図っていく。また、玉小体育館の耐震診断を行い、21年度には改修工事を実施する予定である。学校給食では、子ども

たちが喜んで楽しく食べられる給食づくりに取り組んでいく。特に本年度は環境にやさしく美味しいピンの牛乳を出していきたい。

町長 震災時には、最低限の「水を流す、溜める、処理する」が行われる。県防災会議によると、個々の施設での防災対策に任されているとのことである。

町長 震災時には、最低限の「水を流す、溜める、処理する」が行われる。県防災会議によると、個々の施設での防災対策に任されているとのことである。

町長 震災時には、最低限の「水を流す、溜める、処理する」が行われる。県防災会議によると、個々の施設での防災対策に任されているとのことである。

町長 震災時には、最低限の「水を流す、溜める、処理する」が行われる。県防災会議によると、個々の施設での防災対策に任されているとのことである。

町長 震災時には、最低限の「水を流す、溜める、処理する」が行われる。県防災会議によると、個々の施設での防災対策に任されているとのことである。

町長 震災時には、最低限の「水を流す、溜める、処理する」が行われる。県防災会議によると、個々の施設での防災対策に任されているとのことである。

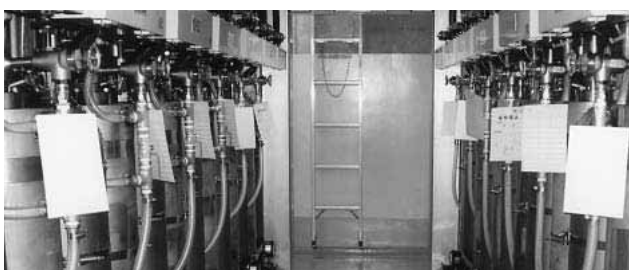
町長 震災時には、最低限の「水を流す、溜める、処理する」が行われる。県防災会議によると、個々の施設での防災対策に任されているとのことである。

町長 震災時には、最低限の「水を流す、溜める、処理する」が行われる。県防災会議によると、個々の施設での防災対策に任されているとのことである。

町長 震災時には、最低限の「水を流す、溜める、処理する」が行われる。県防災会議によると、個々の施設での防災対策に任されているとのことである。



“給食大好き 玉村っ子”を目指して



新潟県中越地震で震度7を被震した流域下水道掘之内処理場 内部

「食育条例」を作り、町全体で食育に取り組むべきである

三友 美恵子 議員



Q 食育基本法の中に、「食」についての意識を高め、信頼できる情報や、それに基づいた適切な判断を行う能力を身に付ける必要がある」とある。

また、昨今の食の安全性の問題や、現在の食料自給率が39%であることを考えたとき、農業に對して、もっと積極的な施策を講じる必要がある。学校給食について、

でも、地産地消の推進をすべきである。

一方、町の学校教育においては、「玉村カレイ」や「冬瓜給食」など、地域と連携した「食育」の取り組みが始まっている。

心身の健康を増進するための健全な食生活、地産地消の推進、家族団らんの大切さなどを考えていくために「食育条例」を作り、この取り組みを町全体に広げていく必要があると思うがどうか。

A 町長 食の安全は重要なことである。今は、農業の転換期でもあると思うので、農協とも協議する。町を挙げて「食育」に取り組んでいく。

Q 東毛広域幹線道路の全線開通や、スマートインターの開設に伴い、町が大きく変化していくものと思われる。ベトナムとしての位置づけが大切であると思うがどうか。

A 町長 周辺都市と連携をとりながら、田



学校給食に出された“とうがんスープ”



使われた冬瓜

平成20年度施政方針および特定健診などの準備と周知は

筑井 あけみ 議員



Q 町長は、一期4年間の正常化を図ったとしている。しかし、消防問題では高崎広域に向かおうとするなど、大局を見失ったのではないかと。町民や消防関係者に不安を抱かせたことは反省に値する。

A 町長 消防委託料についての当時の決断、行動は町民のためだったと自負している。

結果として甚大な心配をかけたことはお詫びする次第である。

Q 第3保育所の定員や規模(取得面積・建物構造など)と計画は。

A 町長 建物は南向きにし、遊び場を十分に確保する。用地は約1000㎡の予定。現在と同じ160人の定員規模での改築を考えている。

Q メタボリックシンドロームを発見し、生活習慣病を予防する特定

健診・保健指導が4月からスタートする。準備と周知は万全か。

A 町長 特定健診は、40歳から74歳までの国保加入者に対し、集団健診(40歳から64歳までを対象)と個別健診(65歳から74歳までを対象)を実施する予定である。

特定保健指導は、健診を実施した医療機関に、指導を委託する予定である。

町の保健師、管理栄養士は、特定健診、特定保健指

導の技術者指導を終了し、準備中である。

なお、町広報誌やホームページで計画を公表し、周知を図る。

Q 地産地消の推進事業として、地元農産物の加工所建設の検討と今後の取り組みは。

A 町長 地元農畜産物と加工品の販売のための直売所について検討する「直売所設置推進懇談会」を設置し、意見交換・調査研究を進めている。



建て替えが待たれる 第3保育所